

梅雨も明け本格的な夏を迎え、毎日厳しい暑さが続いていますね。熱中症などにならないよう、体調には十分気を付けましょう。今回からは2号にわたり『コミュニケーションエイド』についてのお話です。

今回のテーマ

コミュニケーションエイドについて



コミュニケーションエイドとは？

コミュニケーションエイドとは、コミュニケーションが困難な方々の自己表現を支援したり、人と人との関係付けを補うことを目的として生み出された機器のことをいいます。また、教育場面では学習の道具としても使われます。今回は電子技術を利用したものをご紹介します。

相手に何かをお願いしようとする場合や家族や友人と会話を楽しむ場合、お店で何かを買いたい場合など、相手からの問いかけに対しては、最低限の意思表示として「はい」「いいえ」を答えなければなりません。

発声が困難な人の場合には、音声出力付きのコミュニケーションエイドがあります。機種によっては、「はい」「いいえ」ボタンが用意しており、そのボタンを選択することで音声が出力されます。メッセージ登録機能が付いている機種では、あらかじめ様々な生活場面に必要なメッセージを登録しておけば、必要になった時、簡単な操作で呼び出し、相手に伝えることができます。液晶表示機能や紙テープへの印字機能が付属している機種では相手にその場で読んでもらいます。

これらの機器は、固定した場所のみで使用されるのではなく、移動先や外出先などでも利用されることから、小型で軽量に設計されており、充電式のバッテリーを搭載しています。

日常生活では、時間をかけてじっくりと自分の考えを書き表すといった場面があります。例えば、手紙や日記を書いたり、学校の宿題をやる等です。そのような場合にはパソコンと専用のソフトの組み合わせで構成されたタイプのコミュニケーション・エイドを使用し、自分の気持ちや考え方を文章として表出することで、より深く相手の気持ちに訴えかけたり、考え方を十分に整理したりすることができます。

コミュニケーションエイドの対象

病気や事故のために発声できない方や、ことばのやりとりが難しい方を対象としています。疾患の例としては、ALS(筋萎縮性側索硬化症)、進行性筋ジストロフィー症、頸髄損傷による四肢まひ、重度脳性まひの方などが挙げられます。



機器の紹介



<携帯用会話補助装置>

「トーキングエイド」

ひらがな 50 音の文字盤を押すと、対応する音声が出力されます。一音一音でも出力でき、また、一定の長さの文をまとめて出力することもできます。文字盤のキーを指先あるいはスティックなどの先端で押して操作します。言葉の発声や書字が困難であるが自己表現の意欲がある人、外出先でのコミュニケーション手段として利用したい人などに適しています。



パシフィックサプライ株式会社HPより引用

<VOCA(音声出力コミュニケーションエイド)>

「ビックマック」

肉声による短い言葉を録音し再生することができます。よく使う言葉を登録しておけば、簡単にメッセージを伝えられます。丸い大きなプレートを手先・手先やひじ、踵などで押して操作します。一つのメッセージ、最大 20 秒間の音声を録音することができます。スイッチ操作が初めてという人や大きめのスイッチであれば押すことのできる人に適しています。



パシフィックサプライ株式会社HPより引用

<意思伝達装置>

「伝の心」

オートスキャンで動くカーソルを操作し、ひとつのスイッチで文章作成ができる意思伝達装置です。特殊なマウスや代替キーボードの使用が困難で、指先や眼球のわずかな動きを利用して機器を操作する必要のある方を対象としています。



パシフィックサプライ株式会社HPより引用

日常生活用具給付制度について



コミュニケーションエイドのうち、いくつかのものは「**身体障害者日常生活用具給付制度**」の機器に指定されており、品目に応じて定められた額の補助金が購入や貸与に際して支払われます。その金額以上のものを購入すると差額分は自己負担となります。

自治体によって異なる点もありますので、詳細については各市町村の担当窓口でご確認下さい。

* 今回ご紹介した機器などをうまく使いこなすことで、人とふれあう場面が増し、日常生活が変化に富み、充実していくことにもつながるのです。

